

平成 31 年 3 月 28 日 00423 号

編集者:佐藤 寿春

北見武道通信

北見市幸町 8 丁目 4-4(佐藤整骨院内)

NPO 法人北見市武道振興協会事務局発行

直通:090-5986-0839

代表:0157-22-2212 Fax:0157-23-0581

URL <http://www.kitamibudokan.org/>

satou.toshiharu@navy.plala.or.jp

ニュースレター【事務局情報】平成30年度最後の指定事業「空手道体験教室」が開催されました！



3月24日(日)北見市武道館に於いてNPO 法人北見市武道振興協会主催による平成30年度指定事業最後の「空手道体験教室」が開催されました。体験教室には、4歳～10歳の23人の少年少女が保護者に連れられ参加しました。最初は少し緊張気味で、声も小さく元気が感じられましたが、基本の掛け声から身の構え方、パンチの出し方など体験が進むにつれて元気いっぱい見違える様に成長が見られました。

小さなお客様！橋爪友楓ちゃんと橋爪桜太くん 橋爪友楓ちゃん(8歳)と橋爪桜太くん(5歳)



が受付窓口に来てくれました。友楓(ゆうか)ちゃんと桜太(おうた)くんは2年ほど前から、なかざわ道場で柔道を習い始めました。2人が入っている「なかざわ道場」は、私道場と木曜午後7時から北見市武道館を利用し活動をしています。姉弟の友楓ちゃんと桜太くんは柔道が大好きで、武道館でも楽しそうです。指導する中澤正先生は「小さかった桜太くんがこの春小学1年生になる」と喜んでいました。(佐藤)

武道振興協会事務所の花シリーズ 「ミニカトレア」

ミニカトレアは30cmの高さにやや細めのバルブと葉を着けます。花は4~5cm位で鮮やかなオレンジ色を5~7個つけています。カトレアは色んな花を掛け合わせて作られていて正式な花の名前は「リンコレリオカトレアヤン・ミニオレンジゴールデンサーティスファクション」です。長く咲き育てやすく大好きな種類です。(渋谷)



連載「武道宝鑑」第21弾 「竹内流腰廻より講道館柔道まで」

講道館七段 櫻庭 武(最終16回目) その草創当時(そうそうとうじ)に返りて、反省(ほんせい)する必要があると思われる。以上竹内流腰廻より講道館柔道に至るまでの、簡単なる各派の発生的叙述であるが、大体に於いて柔術の盛んに興り、高尚(ありさま)なるに進んだのは、徳川家綱以降であるといわれている。その後は盛衰(せいすい)もあったが、維新頃まで漸次(ぜんじ)国中に広まり数多の流派(りゅうは)を生ずるようになった。しかしながら之等は、維新と共に一時全く影をひそめたのを、嘉納先生(さいせい)によって再生(さいせい)され、今日の大をなすに至ったというのが、その概略(がいりやく)である。而して諸流(しよりゅう)の柔術より講道館柔道に移るに及んで、その意義目的(いぎ)に於いて、技術(ぎじゆつ)に於いて所謂コペルニカス的大転向(たいてんきやう)があったことは、見逃(みのが)してはならない。柔道は、その形に於いては昔の柔術(じゆじゆつ)に似ておるけれども、その生命(いのち)は全く新た(あら)になったのである。終

次回は連載「武道宝鑑」第22弾 剣術極意(千葉周作遺稿「剣法秘訣」より)をお伝えします。